



HIROMI YOSHIDA

1998 printemps-été collection

No.5

季節風にのって

HIROMI YOSHIDA
1998 printemps-été collection



ロミの事を書こうとすると、私のパリでの青春時代が走馬灯の様によみがえってくる。

その時代のファッション、ブティック、ディスコ等がそれぞれの人達と絡み合って思い出一杯になる。人達とは、大将格の今井画伯をはじめ、高田 賢三、ユミ・シャロー、ジル、安斉 アツコ、三宅 一生、松田 光弘、久田 尚子、荒牧 太郎、フーチ(太郎の奥さん)、金子 功、モン・ブティット・アミ 達、あやしげなフランス人達、ファッションモデルetc。パリの先輩今井画伯とよく出入りした、バスバラディ、ホモクラブ、レズビアンクラブ、数多いディスコ。パリにいる限りロミー派、賢三、ユミ、ジル、アツコ或いは日本からの人達とディナーのスタートは宝屋、クボールで。10時頃に終わり、その後ロミの好きなドラッグストアのカフェに。彼女は大大好きなグラスパフェ(色とりどりのアイスクリーム5つ位の上にパフェ、ホイップクリームがうんとかかっていて小さな日傘をさして、その横に花火までバチバチと)を注文する。ギャルソンが「ヴォワラ」と、ロミの目の前に。嬉しさいっぱいの顔をして、ベロリと食べ出す。「これおいしくてやめられないけど、食べた後は必ずビーなの。でも、食べるの。」なんていって…。

賢三もロミもユミも精一杯おしゃれをして、シェ・キャステルへ。ここは、パリ中のおしゃれな人間が集まって生きたファッションを吸収するところ。BB(ベベ)が彼と、ローランブチやニコル(自動車事故で亡くなったトップマヌカン)、その他美男美女無数。とにかく粹なところだった。その時は2・3ヵ月毎に踊るスタイルが変わって、パリに着いたその夜から、新しい踊りが踊れるように熱心に通った。ところが、ロミはそんなふうだけではなく、当初一人でジョルジュサンク5番地のジバンシィに職を求めて、毎日受付のおじさんに只一つ覚えたフランス語「ジュヴードレトラバイエ イッシィ」。(私はここで働きたい!)と毎日通って、やっと見習いから入った。数年後その仕事ぶりが買われて何人かのスタッフを使うチーフになった。しっかりした彼女のその才能と若さと情熱のなせる技だった。パリに何年かいて日本に帰り又アメリカへ。そして仕事に打ち込み、そのうちにいい男と結婚、子供をもうけ、そして髪をショートにしてハキハキと目をむけて、歯を出して「サヴァ?」なんて…。

日本でのコレクションを時々見せてもらいますが、大変セシスの良い大人の服を造る唯一のデザイナーなんじゃないかなー。例えば、イヴ・サンローランの様な。しかし、いつまでも僕にとってはパリ時代のロミー派の共通した子供っぽさ、純粹さが懐かしい。最近会っても、いつも永遠に青春をもって生きている人なんだなと思う。ロミという女性は、いいおんなです!

最後にロミに。私ここ数年で悟ったこと。

無理して仕事をせぬこと。自分に重いソルマをかけぬこと。しょせんどんなにドタバタしても結果は同じだ。力を抜いて、しかし頭はフル回転、感性をみがいて、すべての綺麗なものに好奇心をもち、ホレ込むこと。きっといい結果が生まれるよ。いやな奴とは、挨拶だけで済ますこと。おしゃれをして、いい人とおいしいものを食べて、いいワインを飲んで。最後に、いつまでも色気を失わないこと。現役で、楽しくやること。一生好きな仕事＝趣味をもつこと。(シャレ気、食い気、色気、3気だよ)

桃田有造
株式会社プレスエージ 代表取締役社長



























HIROMI YOSHIDA
1998 printemps-été collection

吉田ヒロミ プロフィール

- 1941年 東京の六本木に生まれる。
- 1960年 高校卒業後、セツモードセミナーにてファッションイラストを学ぶと同時に、母親の経営する「オートクチュールSetsu」にて服づくりの技術修業をする。
- 1964年 セツモードセミナー卒業、渡仏。
日本人として初めてジヴァンシー社に入社。デザイン及び技術を認められ、ジヴァンシー社より7年間有効の労働許可証を取得。アドリエチーフのアシスタントであるセゴンドになり、オードリー・ヘップバーンをはじめV.I.P.顧客の担当となる。
- 1968年 アメリカハーバース・バザー社のスタイリストに推薦され渡米。ニューヨークで一年間コーディネート力を養う。
- 1969年 バリのジヴァンシー社には戻らず帰国。
母親の経営する「ブティックSetsu」のオートクチュールデザイナーとしてクリエイション活動をはじめめる。
- 1971年 第1回吉田ヒロミオートクチュール春夏コレクション発表。
- 1972年 ブランド「イグレッグ」発表。
- 1978年 T.D.6のメンバーとなり、第14回'78〜'79秋冬コレクション発表。
- 1980年 株式会社吉田ヒロミデザインインターナショナル設立。
「CLOVE vs. CLOVES / クローブ クローブス」発表。
- 1986年 東京ファッションデザイナー協議会(C.F.D.)の設立にかかわりメンバーとなる。
- 1989年 社団法人サ・ファッショングループに入会。委員を務める。
- 1992年 プレタクチュール'92秋冬HIROMI YOSHIDAコレクション発表。
- 1996年 1月、プレタクチュールHIROMI YOSHIDAコレクション、プレタポルテCLOVE vs. CLOVESの2ブランドを中心に、企業のユニフォームを含め意欲的にデザイン活動を展開。また、各種ファッションコンテストの審査委員としてファッション界をバックアップしている。
- 1997年 昭和女子大学にて、生活美術科の講師をつとめる。

吉田ヒロミ

「直営ブティック」

ヒロミ ヨシダ西麻布本店

〒106 東京都港区西麻布3-21-22 YHビル TEL:03-3403-0857

クローブ クローブス岡山店

〒700 岡山県岡山市表町3-2-27 TEL:086-234-5142

クローブ クローブス高知 バニラボイス店

〒780 高知県高知市追手筋1-9-8 TEL:0888-23-6679

クローブ クローブス大分店

〒870 大分県大分市中央町2-1-22 NEXTビル2F TEL:0975-32-0480

クローブ クローブス広島店

〒730 広島県広島市中区三川町5-4 TEL:082-249-5710

商品に関するお問合わせは、株式会社吉田ヒロミデザインインターナショナル及び上記のショップにて承ります。

「吉田ヒロミ ライセンス商品」

婦人フォーマルウェア：株式会社東京ソワール

紳士ネクタイ：渡正ネクタイ株式会社

婦人ニットカットソー（通信販売）：株式会社フェリシモ

子供服（通信販売）：株式会社フェリシモ

婦人オフィスユニフォーム：セロリー株式会社



HIROMI YOSHIDA

株式会社吉田ヒロミデザインインターナショナル 〒106 東京都港区南麻布4-5-53 TEL.03-3441-2174 FAX.03-3441-2356